

コミュニティ・スクールだより

つなぐれ保護者同士の輪！先輩との輪！

保護者同士をつなげる場作りの会である竜北西部小の「かたらん会」と、竜北東小の「にこにこくらぶ」で、クリスマス前にリース作りをしながら交流する場を設定しました。

子どもの話題などで会話も弾み、終始笑顔で楽しいひとときを過ごされていました。



▲リース作りをしながら保護者同士で交流

また、竜北中と氷川中の受験生に対して、高校生から社会人の地域の先輩が、これまで体験したことや夢に向かって頑張っている事などを話していただきました。今後も出会いを大切に、笑顔がたくさんあふれる素敵なつながりが広がるよう取り組んでいきます。



▲「ようこそ先輩」で受験生にエールを送る卒業生

問 氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局（学校教育課内） ☎0965-52-5859

地域学校協働本部だより

めざせ合格！面接練習をサポート

竜北中と氷川中では、3年生の高校受験に向けて、CS委員さんや地域の人をお願いして面接練習をサポートしました。面接練習では、志望動機や自分の将来のこと、中学校で頑張ったことなどを自分の言葉で伝えることを練習し、面接を受ける上での細かい注意点などをアドバイスしました。



▲面接指導の様子

問 氷川町地域学校協働本部（生涯学習課内） ☎0965-52-5860

雅楽に触れる

宮原小と竜北西部小の6年生が、音楽の授業で雅楽を体験しました。日本古来から伝わる笙、箏、龍笛、太鼓などの音色を雅鏡会の皆さんから聴かせてもらいました。子どもたちは、荘厳な音色に合わせて「ふるさと」を歌いました。また、雅楽の歴史や各楽器について話を聞き、知識を深めました。



▲雅楽の音色で癒されます

ありがとう 地域の先生

竜北西部小

3年生が1月の書き初め展の作品づくりをする中で、地域学校協働活動推進員の三枝さんのお世話により、校区にお住まいの森さんと中島さんに指導をお手伝いしていただきました。

初めて使う小型条幅の使い方や筆の動かし方など分かりやすく教えてもらい、書き初め展への意欲が高まりました。



Didn't give up until the end ～最後まであきらめなかった持久走大会～

竜北東小

12月10日は持久走大会でした。最高の天気にも恵まれた中で、笛と同時に走り出す子どもたち、とてもかっこよかったです。民生委員の皆さんには、練習の時から安全確保のご協力をいただき、本当にありがとうございました。日々、地域の皆さんに支えられ、子どもたちの成長していく様子が見受けられます。心より感謝いたします。



CS委員さんによる門松づくり

宮原小

12月16日にCS委員さんによる「門松づくり」が行われました。立神地区から切り出した大きな竹、ゴザや葉ばたん、松、南天など色々な材料を持ち寄っていただき、立派な門松ができました。

子どもたちも門松作りの様子を見学し、その由来なども知るなかで、門松の風格ある佇まいに気持ちも引き締まったようでした。



氷川っ子

スクールニュース

各校の「氷川っ子」の取り組みを紹介します。

ようこそ先輩～学校運営協議会の取り組み～

竜北中

今年度、竜北中の学校運営協議会(以下CS)では、人生の先輩であるCS委員が、中学生に対して思いを伝える「ようこそ先輩」の取り組みを始めました。

12月15日には、古閑靖章委員(中大野)が、自分の体験をふまえ「どこの高校・大学へ行くかではなく、行った先で何をすることが明確ではないと無駄な時間を送ることになる」という話をされました。

進路選択を間近に控えた3年生が、真剣な眼差しで話を聞く姿が印象的でした。



今年の集大成！そして令和5年度へ！

氷川中

12月も合唱コンクールや人権集会、熊本高専の出席理科授業など、多くの学びがありました。

1年生は、地域の農家さんと地域学校協働活動推進員さんのご協力により、農業体験活動を行いました。

また、2年生の修学旅行では、日ごろ味わえない我が国の文化や歴史について学び、広島県での平和学習では、「戦争は絶対にしない」決意を強く持ちました。

地域や保護者の皆さん、大変お世話になりました。

